

1 学校教育目標

「主体的・対話的に深く学び、共に高め合う児童の育成」

(1) 期待する学校像

- 安心・安全に学ぶことのできる学校
- 確かな学力とたくましく生きる力が身につく学校
- 意欲と喜びにあふれた学校

(2) 期待する児童像

- よく考え、進んで学ぶ子
- やさしく、思いやりのある子
- 健康でたくましい子

(3) 期待する教師像

- 分かる授業づくり・確かな学びのある授業づくりに努める教師
- 子どもと共にある教師
- 責任感ある行動をし、保護者・地域から信頼される教師

児童の目標

「かしこさ（よく考え、進んで学ぶ態度） やさしさ（思いやりの心）
たくましさ（健康でたくましい体）を身につけよう。 瑞穂っ子」

スローガン

「よく考え、進んで取り組み、すなおに表現する」

2 学校経営方針

石川県教育委員会が掲げる「石川の教育振興基本計画」「いしかわ学びの指針12カ条+」及び羽咋市教育委員会「学校教育の指導指針の重点」を教育活動全般で推進することにより、保護者や地域から信頼される学校の実現を目指す。

(1) 子供が安心・安全に学ぶことができる学校づくりを組織的に推進する。

- ① いじめ等、どこに起きてもおかしくないという意識で、アンテナを高くする。
- ② 報告・連絡・相談を適切に行う。
- ③ 問題への早期対応・丁寧な対応を行う。
- ④ 全職員で全校児童を見ていく。

(2) 確かな学力とたくましく生きる力の育成を目指すために、主体的・対話的に深く学んだり活動したりする教育活動を推進する。

- ① 主体的・対話的で深い学びができる授業づくり・活動づくりを行う。

- ② 学級経営を基盤とし、互いに認め合い高め合う学級づくりを行う。
 - ③ 学習ルールの確立を図る。
 - ④ 学力調査結果の分析に基づき、基礎・基本の確実な定着と活用力の育成を図る。
 - ⑤ 家庭学習の充実を図る（間違えた問題・分からなかった問題・難しかった問題を復習する）。
 - ⑥ 外国語活動の充実を図る。
 - ⑦ プログラミング教育の充実を図る。
 - ⑧ 補充学習の充実を図る（朝学習・放課後学習）。
- (3) 子どもの規範意識の育成を重視し、落ち着いたのある学級づくり、学校づくりを推進する。
- ① 道徳教育の充実を図る。
 - ② 集団生活の中での規範意識の育成を図る。
 - ③ 明るく元気な挨拶ができる児童の育成を図る。
 - ④ 地域や廊下で会釈できる児童の育成を図る。
 - ⑤ 黙働清掃を推進する。
- (4) 率先垂範の姿勢で、教師が子どもの手本となるように努める。
- ① 教師も児童と一緒に清掃を行う。
 - ② 子どもに指導することは、教師自身も襟を正す。
 - ③ 様々な取組を行った後の見取りを大切にす。
- (5) 学校生活の基盤となる基本的生活習慣・体力づくりを推進する。
- ① 早寝・早起き・朝ごはんの推進に努める。
 - ② スポチャレ等に積極的に取り組み、体力の向上に努める。
- (6) 家庭や地域との連携を図り、信頼される学校づくりを推進する。
- ① 服装、電話対応、時間厳守等、失礼のないようにする。
 - ② 職員室への来校者（保護者、業者 等）には、立って対応する。
 - ③ 保護者や地域の声を真摯に受け止め、丁寧で迅速な対応を行う。
 - ④ 体罰、飲酒運転、セクハラ等、児童・保護者の信頼を裏切る行為を行わない。
 - ⑤ 学校や教師が厳しく評価される時代であることを自覚して職務に当たる。
- (7) 教育の専門職として互いに啓発し合い、自らの資質向上を図る。
- ① ワークライフバランスの充実を図り、効率的な働き方に努める。
 - ② 専門職としての自信と誇りを持って教育活動を行う。（そのためには絶えず研究と修養を行う。）
 - ③ 互いに鍛えあい、高めあう校内研修を行う。
 - ④ 若手教職員の育成に努める。

3 本年度の重点目標

(1) 安心・安全な学校づくり

目 標	取 組
○楽しく、協力しあえる児童の育成 <目標> 学校が楽しいと感じる児童 90%以上 <目標> いじめ解決100% <目標> 不登校0	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動の推進 ・週1回の児童理解の会の実施 ・学期1回のいじめアンケートの実施 ・児童継続観察カードの作成と活用
○元気な先挨拶ができる児童の育成 <目標> 大きな声で自ら挨拶できる児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心としたあいさつ運動(あいさつ列車など)の実施
○感染症などから自分で身を守る児童の育成 <目標> 新型コロナウイルス感染者 0	<ul style="list-style-type: none"> ・検温、手洗い、うがい、消毒等の徹底

(2) 確かな学力の育成

目 標	取 組
○授業改善及び補充学習の充実による学力向上の推進 <目標> 授業がわかる90%以上 <目標> 学期ごとの単元テストで正答率85%以上 <目標> 県・全国学力調査で県平均+13ポイント以上 <目標> 市学力調査で正答率 85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的に深く学ぶ授業づくり ・言語能力の育成を目指した授業づくり ・デジタル教科書、情報機器を活用した授業づくり ・放課後ドリルタイムでの補充・発展学習の実施
○家庭と連携した基本的な学習習慣の確立 <目標> 家庭学習 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・10分×学年+10分 ・間違えた問題を自学で復習
○学力向上ロードマップに基づく学校研究の組織的・日常的・計画的な実施 <目標> 月ごとの確実な実施 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会における学力向上に向けた取組(学力調査に基づく検証・提案、OJT、ノートチェック、生活チェック等)

(3) 多忙化改善を図りながら若手教職員を育成する取組

目 標	取 組
○定時退校日の設定 <目標> 定時退校日・ノー残業デー達成率90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日を定時退校日(退校時刻 18時)とする。内、2日をノー残業デー(退校時刻 17時)とする。 ・水曜日は日課を工夫することにより、児童最終下校時刻を15時15分とする。
○時間外勤務時間の削減 <目標> 時間外勤務時間が月80時間 0% 内部評価「多忙化改善」A+B100%	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担及び推進の適正化 ・スクラップ&ビルドの推進 ・会議等の効率化
○若手教職員の育成 <目標> 3年目 自己評価シート A評価14項目中5個以上 6年目 自己評価シート A評価14項目中7個以上 10年目 自己評価シート A評価14項目中10個以上	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を中心とした定期的OJTの実施 ・ミニOJT(月2回程度)・コンサルテーションを中心とした日常的OJTの実施

(4) 英語教育の推進

目 標	取 組
○児童の英語能力の育成 <目標> 英検5級取得率80%(5・6年生) 英検Jrシルバー合格率 70% (2～5年) 英検Jrブロンズ合格率 60%(1年)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語(活動)の授業の充実 ・イングリッシュデイの設定(月・火) ・イングリッシュウォークの実施 ・イングリッシュマスターテストの実施 ・朝自習での補充学習の実施

